

超高齢・人口減少社会へ

果敢に挑戦

薩摩川内市長

岩切 秀雄



平成31年の新春を迎え、謹んで新年のお祝詞を申し上げます。

昨年、地震や豪雨が全国各地で発生し、改めて自然災害の脅威を痛感した一年でありました。特に、大阪府北部地震、平成30年北海道胆振東部地震および平成30年7月豪雨においては、多数の方々の尊い命が奪われました。ここに改めて哀悼の意を表し、一日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。

さて、本市の昨年の出来事につきましては、次ページ以降にも掲載しておりますが、まず3月に、企業の事業主・管理職が女性活躍の推進に積極的に取り組み、働き方改革に寄与している企業に対して、本市初となる表彰を行いました。

また、市民の皆さまの安全・安心を確保するため、4月に開所した「薩摩川内市総合防災センター」を拠点とし、関係機関と連携して迅速かつ適切・的確な情報収集と皆さまへの情報提供ができる体制の維持に取り組んでまいりました。

した。中国・韓国などに近い地理的優位性を持つ国際物流拠点として、川内港の港勢がさらに加速することが期待されます。

雇用・移住対策につきましては、新卒者の地元就職、U・Iターン人材の確保などに取り組んでおり、甕島地域では、若手経営者を中心に、「雇用・移住対策協議会」が、4月に上甕島地域で、6月には下甕島地域で設立されました。

企業振興につきましては、「事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会」が創立され、これまで進めてきた技術提携や共同開発などの各種事業の展開が、より一層強化・高度化されるものと期待しております。

南九州西回り自動車道の整備につきましては、10月に阿久根川内道路の着工式が阿久根市において開催されました。災害時の緊急輸送道路や代替道路の確保など、信頼性のあるネットワーク機能の確保に大きく貢献するものと期待されることから、国・県と連携を図りながら、着々と進めてまいります。

閉校跡地の利活用につきましては、旧山田小学校を活用して、外国人技能実習生研修施設

「ベーシックトレーニングセンターヤマダ」が開所されました。同センターの安定的な運営が図られるよう、関係者とも連携しながら支援してまいります。

今年は、「燃ゆる感動がこしま国体」のリハーサル大会を開催するとともに、本大会に向けた施設整備、市民参画、地元おもてなしなどの取り組みを強化・拡充し、さらなる気運醸成を図ります。また、東京オリンピック・パラリンピックにつきましては、事前合宿誘致などに取り組んでまいります。

昨年12月に起工式を実施した川内駅東口のコンベンション施設の整備・運営事業につきましては、引き続き、平成32年7月の供用開始に向けて諸手続きを進めます。また、東郷地域に整備を進めている「東郷学園義務教育学校」が3月に完成し、いよいよ開校を迎えます。その他、持続可能な財政構造を確立しつつ、女性活躍推進や働き方改革の取り組み、農林漁業の六次産業化、次世代エネルギー、観光・スポーツ、健康・福祉や教育などの施策も総合的に推進してまいります。

本市におきましても、人口減少、少子・高齢化、人手不足など予断を許さぬ状況にあります。このようなときこそ、地域や事業者など皆さまの衆知を結集し、連携を深めながら果敢に挑戦していくことが「みんなのふるさと 躍動薩摩川内」の実現につながると考えております。

本年も、最大限の効果が創出できるよう職員ともども全力を傾注してまいりますので、昨年同様のご理解とご支援をお願い申し上げます。ともに、皆さまにとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

主な出来事

平成30年

このコーナーでは、平成30年1月から12月までにあった主な出来事を、抜粋して掲載します。

Satsumasendai Topics 2018

Topic 02

高江中学校、朝陽小学校、大馬越小学校、陽成小学校が閉校



3月、閉校となった高江中学校、朝陽小学校、大馬越小学校、陽成小学校で閉校式や惜別の会が行われ、在校生、保護者、教職員をはじめ、多くの卒業生や地域住民が歴史ある母校との別れを惜しまました。在校生は、新年度から川内中央中学校、入来小学校、高来小学校で新たな学校生活をスタートしました。

Topic 01

明治維新150周年 大河ドラマ「西郷どん」旋風到来!



昨年は、明治維新150周年の記念すべき年で、大河ドラマ「西郷どん」では、長野滝(入来町)が撮影地となったほか、出演者で本市と縁のある塚地武雅さんが本市観光大使に就任しました。また、観光物産キャラクター「西郷つん」が、市内外のイベントに積極的に参加し、認知度向上やPR活動を行い、明治維新150周年を大いに盛り上げてくれました。

Topic 04

総合防災センター開所



3月28日、市役所本庁舎に併設された薩摩川内市総合防災センターの開所式が行われ、新たな防災活動の拠点施設の完成を祝いました。岩切市長は「的確な情報収集・情報発信を行い、市民の安全・安心の確保に努めたい」とあいさつし、出席者全員が防災対策への決意を新たにしました。

Topic 03

女性活躍推進への取り組みを促進 初の女性救急救命士も誕生



3月28日、本市初となる女性活躍推進企業の表彰式を行い、4社を表彰しました。8月には、女性活躍推進に積極的に取り組み、市の認定を受けた市内企業が企業PRに活用できる認定ロゴマークを決定。今後も、市内企業の女性活躍推進への取り組み意欲を高め、具体的な取り組みを促進していきます。一方、中央消防署の近藤あすか消防士が、救急救命士の国家試験に合格。本市消防局初の女性救急救命士が誕生しました。